

糖尿病市場に関する調査結果 2009

— 患者数増加で市場拡大 新薬上市、新規参入など新たな動きも —

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて糖尿病市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2009年9月～11月
2. 調査対象：国内の糖尿病関連製品メーカー
3. 調査方法：当社専門研究員による面談、電話ヒアリング、ならびに文献調査併用

＜本調査における糖尿病市場とは＞

本調査における糖尿病市場とは、「予防（食品）」、「検査・診断」、「治療」の市場から構成される。予防（食品）市場は、糖尿病患者向け組み合わせ食品、特定保健用食品（血糖値関連）、低カロリー甘味料が該当する。検査・診断市場は血糖測定器（試薬・採血用穿刺器具含む）と尿糖測定器・試験紙が含まれる。治療市場は、糖尿病治療薬（血糖降下剤、インスリン製剤）、合併症治療薬（糖尿病性神経障害治療薬）が対象となっている。（表1参照）

【調査結果サマリー】

◆ 2009年度の糖尿病関連製品市場規模は4,179.7億円、前年度比約5.9%の伸び

2009年度の糖尿病関連製品市場規模は、メーカー出荷ベース（治療市場は薬価ベース）で4,179億7,000万円に達する見込である。予備軍も含めた糖尿病患者の増加を受けて市場は拡大基調であり、前年度比約5.9%の伸びを示している。

糖尿病市場の中で7割以上の比率を占める治療市場は、売上規模の大きい血糖降下剤が市場を牽引し、市場規模は2009年度で3,233億5,000万円に達する見込である。また、検査・診断市場は同707億4,000万円、予防（食品）市場は同238億8,000万円となる見込みである。

2010年度の市場規模は4,385億8,000万円に達すると予測する。市場構成比率の大きい治療市場が糖尿病市場の中心であり、引き続き血糖降下剤が売上を伸ばすことで、糖尿病市場全体を拡大させる見通しである。

◆ 新しい糖尿病薬が上市間近、予防（食品）市場では新規参入の動き

治療市場では、血糖値上昇を抑え、かつ低血糖の発現リスクの少ない新しい糖尿病治療薬（DPP-4阻害薬、GLP-1製剤等）が上市間近であり、今後の広がりが注目される場所である。検査・診断市場は血糖測定器関連製品において激しいシェア獲得争いが行われている。予防（食品）市場では、糖尿病患者を対象とした組み合わせ食品に関する規制が緩和されたことにより、今後新規参入が見込まれる。

◆ 資料体裁

資料名：「2010年版 糖尿病市場の現状と展望」
 発刊日：2009年11月30日
 体裁：A4判 340頁
 定価：126,000円（本体価格120,000円 消費税等6,000円）

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝
 設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

（株）矢野経済研究所 営業本部 広報・PRグループ TEL：03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PRグループ迄お問合せ下さい。

【調査結果の概要】

1. 市場概況

2009年度における糖尿病関連製品市場の市場規模はメーカー出荷ベース(治療市場は薬価ベース)で、前年度比約5.9%増の4,179億7,000万円に達する見込である。予備軍も含めた糖尿病患者の増加を受け、市場は全体的に拡大基調にある。

表1 糖尿病関連製品分類

市場分類	糖尿病関連製品	
糖尿病市場	予防(食品)市場	糖尿病患者向け組み合わせ食品 特定保健用食品(血糖値関連) 低カロリー甘味料
	検査・診断市場	血糖測定器(試薬、採血用穿刺器具含む) 尿糖測定器・試験紙
	治療市場	糖尿病治療薬(血糖降下剤、インスリン製剤) 糖尿病合併症治療薬(注1)

矢野経済研究所作成

注1:合併症治療薬は糖尿病性神経障害治療薬を指す

2. 製品別概況と注目動向

糖尿病市場において7割以上の比率を占める治療市場は、2009年度で3,233億5,000万円に達する見込である。ジェネリック医薬品の広がりなど、金額面での縮小要因がありながらも、インスリン抵抗性改善薬や α -グルコシダーゼ阻害薬のカテゴリーにおいて売上規模の大きい薬剤が伸長し、市場を拡大させている。

2009年度の検査・診断市場は、707億4,000万円となる見込みである。血糖測定器に関しては、インスリン製剤を使用する患者の自然増により売上を伸ばしているほか、糖尿病予備軍の簡易チェックの用途として、尿糖試験紙の需要も高まっている。

2009年度の予防(食品)市場は、238億8,000万円となる見込みである。同市場においては低カロリー甘味料が好調に売上を伸ばしている。これは、参入企業各社のウェブサイト等において、低カロリー甘味料を利用したレシピを公開するなどの販促活動が奏功し、料理用途での需要が拡大したことが背景となっている。

3. 将来予測

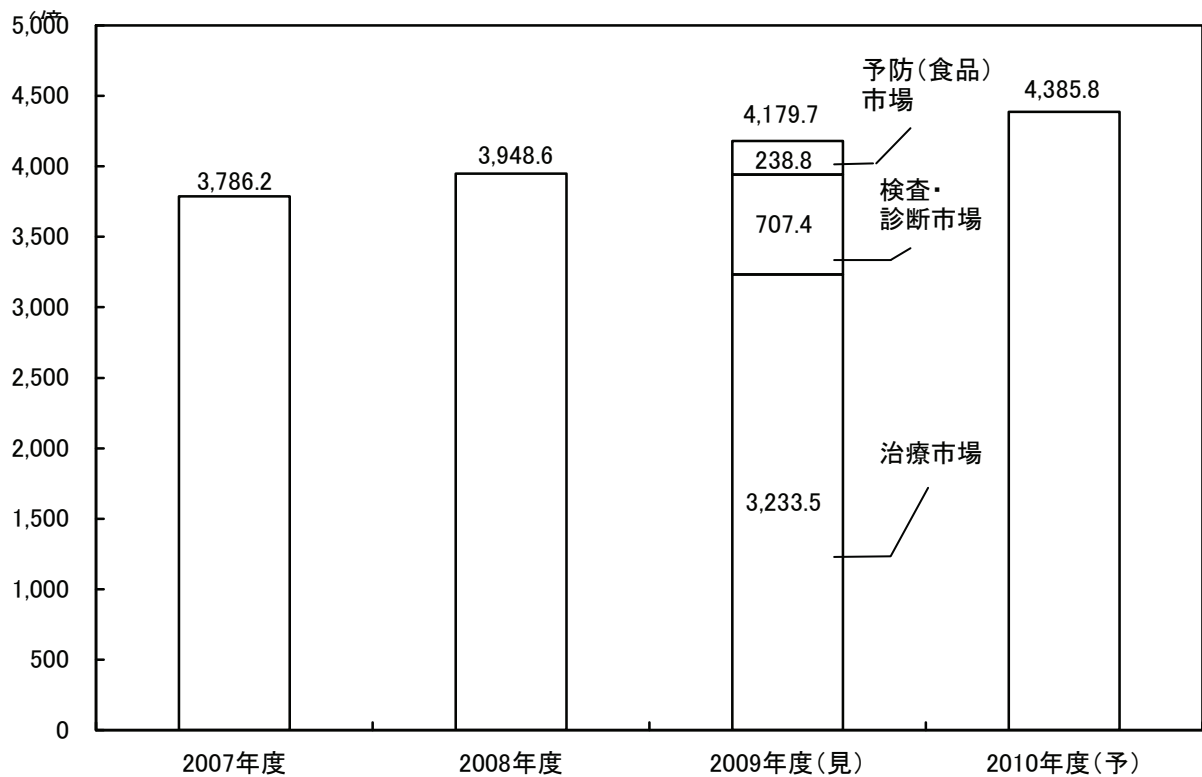
2010年度の糖尿病総市場規模は4,385億8,000万円に達すると予測する。

治療市場では、引き続きインスリン抵抗性改善薬を中心に売上が伸長し、市場を牽引すると考える。また、血糖値上昇を抑え、かつ低血糖の発現リスクが少ないという新しい糖尿病治療薬(DPP-4阻害薬、GLP-1製剤等)が2010年以降上市される予定であり、その広がりも注目される。

検査・診断市場に関しては、血糖測定器関連製品においてシェア獲得競争が激化している。特に外資系メーカーが積極的な営業活動を展開しており、メーカーの市場シェア順位は今後大きく変動していく可能性がある。

予防(食品)市場においては、大きな変化として、糖尿病食調整用組み合わせ食品が2009年4月より特別用途食品の指定から外れたことがあげられる。これにより、当該製品は「糖尿病食」という表現ができなくなる一方、糖尿病患者を対象とした組み合わせ食品を販売する際には、厚生労働省の許可を経る従来の方式とは異なり、同省の定める「食事療法用宅配食品等栄養指針」に沿った製品を作るという、準拠方式が取られる形となった。こうした規制変更の影響で、今後は同市場への新規参入が見込まれており、セントラルキッチンを擁した外食産業が主要な参入企業となると予測する。

図表 1. 糖尿病関連製品市場規模推移



単位: 億円

分類	2007年度	2008年度	2009年度(見)	2010年度(予)
糖尿病関連製品市場合計	3,786.2	3,948.6	4,179.7	4,385.8

矢野経済研究所推計

注2: メーカー出荷ベース、治療市場は薬価ベース

注3: (見)は見込み値、(予)は予測値

注4: 詳細製品品目は表1参照